

## 四万十町文化的施設 中高校生ワークショップ

日 時 平成30年9月23日(日) 13:30~15:30

会 場 四万十町役場本庁 東庁舎1階 多目的大ホール

事務局 川上哲男教育長、熊谷敏郎教育次長  
生涯学習課(林瑞穂課長、味元伸二郎副課長)  
図書館・美術館(森山典将主幹、長木千葉美、谷脇八代美、山口香、山地順子、井上千紗)

(事務局)

文化的施設検討委員会委員長の内田先生からご挨拶を頂きます。

(内田委員長)

皆さん、こんにちは。今日は中高校生ワークショップに参加してくれてありがとうございます。

検討委員会ではこの文化的施設をどういうふうにつけていくか話し合っていますが、そもそも文化的施設は四万十町に住むみんなに「いいな」と思ってもらいたい、そんな思いがあります。ですので今日は、赤ちゃんからお年寄りまでみんなの意見を一緒にまとめながらつけていく意味で、中高校生に来ていただいてこの会を開きました。

自由に意見を出していただいていると思いますし、むしろそんなものを言ってもらったほうが、聞いてしまった以上、何かしなきゃいけないというのも委員会のほうにありますのでね。遠慮することなくどんどん自由に意見を言ってもらえればと思います。

今日はよろしくお願いします。

(事務局)

始める前に諸注意を伝えます。

今日はケーブルテレビが来ていたり写真も撮らせていただいたりするので、HPに掲載することに了承を頂きたいと思います。

また何かあったら対応いたしますのでよろしくお願いします。

(ARG 下吹越)

皆さん、こんにちは。今日はお越しいただきありがとうございます。

我々はアカデミック・リソース・ガイドといって、神奈川県横浜にオフィスを構えている会社組織です。図書館そのものや図書館などの文化的施設をプロデュースしています。

図書館、美術館、博物館といった、皆さんがよく使う公共施設のサービスや内容をどう作ってあげばいいか、考えて中身のアイデアを出す仕事を全国各地でやっています。

今回は四万十町で新しい文化的施設を作るとのことで呼んでいただいて、皆さんに会える機会を作ってもらいました。本当に感謝しています。

皆さんにとってどんな建物、どんな内容があったらいいのか、自由に意見を皆さんと交わしていけたらいいなと思います。

私は今日の司会を務めます、下吹越と申します。よろしくお願いします。

今日は三名で参りましたので、紹介いたします。

(ARG 岡本)

ARG 代表をしております、岡本と申します。

(ARG 李)

同じく ARG のデザイン担当の李と申します。よろしくお願いします。

(ARG 下吹越)

では皆さん、スライドをご覧ください。今日の流れを簡単に説明します。

今日は四万十町の中高生の皆さんとワークショップをしていきます。皆さんの希望が新しい文化的施設に届くように、こういった場を本日は作っていきましょう。

ワークショップという場に参加するのが初めてだという方はどれくらいいらっしゃるでしょうか？

ワークショップとは何かといいますと、「みんなと一緒に同じ作業をすることで新しいアイデアを作っていく」ことです。今回は中学生もいれば、四万十高校、窪川高校の生徒もいます。なかなか普段接しない相手と話して交流することで色々な意見を引き出す場として考えていきます。

「文化的施設」と言われても、今の四万十町の現状じゃなかなか身に覚えがないですね。文化的施設とは何なのか、ものすごく難しいと思いますが、まずは身近な話題から一緒に考えていこうというのがこのワークショップになります。

このワークショップをするとどんな変化が起きるのか。例えば町で「文化的施設を作ります」と案内はされていても、こんなふうに関わらないと、自分たちの町に出来る、自分たちが使う場所なんだと実感しづらいですね。ですので、こういう場を通じて皆さんの意見をそのまま出していただくことで、自分たちがこの施設づくりに関わっていくのだと、大人たちと一緒に感じてもらう場です。

一番の「私たちごと化」されるというのは、「町が勝手にやっているから私たち中高生は関係ないや」じゃなくて、中高生も大人たちもみんながこの施設をどういうものにしていくかを考えていくんです。

次、二番目ですが、「固定観念や思い込みを揺さぶる」という目的もあります。

「文化的施設」と聞くとちょっと難しいイメージがありますよね？ 「それは何する場所なの？」と疑問に思ったりすると思います。それこそ、図書館、美術館と言われると、皆さんは、図書館は本を読むためだけの場所で静かに過ごさないといけないと思っている方もいらっしゃるかもしれません。でも皆さんにとって居心地のいい場所はどんなのかな？と考えると、必ずしも静かに過ごさないといけない図書館や美術館だけが必要な場所ではなかったりすることもあります。

なので、ワークショップでは、これまで図書館や美術館と呼ばれる文化的施設の固定観念を一回捨てて、「自分たちが欲しい場所ってどんなとこだっけ？」をゼロから考えてやっていきたいと思っています。

ですので、まさに皆さんがこの施設を主役として使っていくためには、どんな内容やサービスがあったらいいのかを考えていく場にしたいと思います。

ワークショップについてはこういういくつかの特徴があります。今まで説明したように、一緒に作業するとか、立場や所属の違う人たちで思いを伝え合うとか、あとは体を動かしてこのマップを見ながら新しいことを考えるとか、そういったことになります。

今回のワークショップ最大の目的は、四万十町に住む中高生の皆さんに愛される施設にしたいというのが町の皆さんの強い要望です。ですので皆さんが本当にここで過ごしたいと思えるような居場所を考えていきたいと思っています。そういう要素をぎゅっと詰め込んだ施設づくりを今後していきたいと思っています。

やはり、皆さんにこの町をより好きになってもらうためにはどんなことが必要なのか、中高生の皆さんがこの町を好きだと思っていただくためには、心地のいい居場所が必要なんですね。こういう所で過ごしたいな、ここで自分はずっと成長していきたいな、という町にしていくなかにも、きっかけになる文化的施設が居場所になるように、ぜひ今日のワークショップの内容を取り入れながら、今後検討していきたいと思っています。

【中高生ワークショップと七夕ワークショップのスライドを指して】中高生ワークショップはこれが第1回です。実は先月、ここと同じ場所で七夕ワークショップが行われまして、これはおもに町の大人が集まって、文化的施設についてどんなものがあたらいいかを短冊に書きました。これはぜひ皆さんに短冊を見てもらいたいと思います。大人は文化的施設にこんなものがあたらいいと思っていたんだということを知って、では若者の視点だと「それはちょっと違うんじゃないかな」「私たちはもっとこういう場所がいいと思っているよ」と、ぜひ色々な意見を出してください。

第2回の街歩きワークショップが明日月曜日に行われます。これは大人の皆さんと一緒に窪川の駅と役場周辺を歩いて、この町にはどんな魅力があるか、この町にある課題を見つけたり、そういったところから施設の在り方を考えたりするワークショップを予定しています。最終回の第4回のワークショップは、新しい施設からどんなストーリーが紡がれていくのか。中高生ワークショップや街歩きワークショップの内容の詰まったまとめの会を予

定しています。

大事なのは、今日やる中高生ワークショップの内容がずっと受け継がれて、この検討会の中で引き継がれて、ずっと話し合われ続けていくことです。

なので今日出していただく皆さんの貴重な意見は、今後の施設づくりを考えていく中でも、引き続き大切に参考にしていけたらと思っています。

第3回、第4回のワークショップはどなたでも参加可能なので、もしワークショップを通して少し感触が出てきたなと思ったら、よければそちらにも参加してください。

では、少し説明が長くなりましたが、皆さんと一緒に七夕ワークショップの内容を共有したいと思います。

一応こんな流れで8月にワークショップを行いました。後ろに持ってきていただきましたが、あそこ（七夕の笹）に色んなアイデアが出てるんですね。まずあの内容を見ていただいて、「あれ共感できるな」とか「これは大人目線で若者とは違うかな」とか、皆さん色々あると思いますので、立って後ろのほうを見てみてください。

#### 【参加者の中高生が七夕ワークショップの時の短冊を見学】

はい。では皆さん、一通り見ていただいたようですので席に戻ってください。

ああいう形で色んな希望を出していただきました。実現できるできないは一切考えないでよいので、皆さんも自由な意見を出していただければと思います。

それでは明日の月曜日に行く街歩きワークショップについても簡単にお話させていただきますね。もし参加したい方は今からでもできますので、ぜひ明日も一緒に街歩きしてみましょう。

街歩きで何を見るのかというと、六つにテーマを絞りました。「本」「アート」「音楽」「歴史」「自然」「人」というテーマをグループによって選んで、そのテーマに沿って街歩きを行ってもらいます。例えば「自然」であったら、このエリアのこういう自然って四万十町の魅力だよな、など。普段歩いている道だと思いますが、ちょっと見方を変えるだけで、四万十町の文化的施設に繋がるヒントが出てくるんじゃないか。そういう所を探してもらう街歩きです。

我々も大分県別府市で同じく街歩きワークショップを行ったので、その時の動画を一緒に観たいと思います。

大分県別府市、行ったことがある方はいらっしゃいますか？

名前は知ってますよね。温泉で非常に有名な町です。この前、新しい図書館と美術館を作るというワークショップを行いました。まさに四万十町の文化的施設づくりに非常に似ています。

ただ、新しい図書館・美術館を考える時に建物だけを考えるんじゃなくて、町から新しい施設にどう繋げていったらいいのかを、別府市でも大切にしながらワークショップを行い

ました。さっき出ましたが、足湯っていうのはまさに別府市ならではのアイデアですね。足湯をしながら本が読めたりアートが楽しめたりといった内容も出てきました。なのでその町の魅力を生かした施設づくりをこんなふうに反映している事例になります。

#### 【別府市で行われた街歩きの動画視聴】

明日、四万十町の皆さんも同様に、町を歩いて四万十町の魅力・課題を一緒に探していけたらと思います。

では、これから皆さんと今日やるワークショップの内容についてお話ししていきます。

今日は、何度もくり返しお話ししているように、皆さんにとって居心地のいい場所をテーマに考えます。皆さんにやっていただくことは、皆さんがよく居る、もしくはよく行く場所について教えてください。皆さんが自然に長く居る場所。学校でも家でもそれ以外でもいいですし、どんな場所があるのかを教えてください。

これはリアルな場所だけでなくでもいいです。これがどういうことかと言いますと、中高生の皆さんはスマホをお持ちですよね？ バーチャルな空間のほうが皆さんにとっては結構身近ですよね。例えば「LINEのこのグループは居心地がいい」とか「YouTubeのこういう場所が私はすごく好き」とか、自分らしく居られてリラックスできる場所を、リアル・バーチャル問わずにぜひ色々な意見を出してください。

特に窪川地区にお住まいの方は、ここに地図もありますので地図と照らし合わせながら「好きな場所はここ」と見ていってもらいたいと思います。

二つ目はそこからさらに発展させて、皆さんにとっての「理想の居場所」を一緒に考えていきましょう。これは何かというと、今ある場所だけでなく、「さらにこんな場所があればもっと行きたくなるのにな」という居場所を自由に想像してください。今ある場所がもっとこうなったらいい、と進化・発展させてもいいんですが、全く違う場所でもいい。四万十町や高知県を飛び出して、都会だったり世界だったり、「こういう雰囲気のある場所に自分に行きたい」ということも自由に想像してもらえたらと思います。

皆さんにとって「居心地のいい場所」がどんなものなのかをヒントに、文化的施設づくりに繋げていきたいと考えています。

ですので、皆さんの好きな居場所、よく行く居場所を教えてもらうことから始めようと思います。皆さんそれぞれ初対面の方が多いと思いますので、ここからはグループ作業に入って、自己紹介から始めたいと思います。

#### 【参加者の席移動～中高生たちの自己紹介】

#### 【地図と付箋を使った、中高生による意見の書き込み作業】

#### 【中高生が書いた意見を実際に発表】

では今日のワークショップは以上です。

最後にコンサルの挨拶と記念撮影をしていただく流れにしたいと思います。

(内田委員長)

ありがとうございました。

皆さんに言っていたことで、二つほど感じたことがあります。

最初は自分のことで話をしていたと思うんですが、それがだんだん町の人みんなにというふうに変わってきました。これはやっぱりすごいと思いますし、私たちもそういうふうを考えたい。今日の意見はとても参考にさせていただきたいです。

それから、今日はチラシを見て自由に参加してくださったわけですが、「意見が言えたらいいな」との声もありました。おそらく町中の皆さんがそういうことを期待していると思います。こういうものを作るんだっただけで自分のこういう意見を言いたい、と思っている人がどれだけたくさんいるのか、分かったような気がします。

それから話にも出ました大正地区の高校生の方の「遠い感じがする」という意見は、本当にそのことをどうしていけばいいのかと思って聞いておりました。

まだまだたくさんありますが、今日だけでなくこれからもずっと作っていくんで、中高生にも関わっていただきながら、本当に、町の人にとっていい施設を作っていきたいです。

まとまりませんが、今後もよろしく願いいたします。

ありがとうございました。

(教育長)

今日は中学生、高校生の皆さん、本当にありがとうございます。

私たちも皆さんも色んな「気づき」があったと思います。

私たち大人も、考えてみれば、集まって自由にお話ができたり、おいしいものを食べたりという場が本当に無いと改めて思いました。

そして、皆さんが町を活性化していく上で、今日色んな意見を出していただきました。これは探求学習的に、地元にどういった課題があるかという点に繋がっていきます。そういったことで非常に意義のある時間だったと思います。

今日は皆さん、本当にどうなることかと思っていたことと思いますが、色々と思いと意見が出て、こんな形を伝えていきたい・作っていききたいと、本当に素晴らしい意見を聞かせてくださいました。本当にありがとうございます。

今からこのことについて、四万十町では、図書館・美術館、また郷土資料も含めて複合施設を実際に作っていく方向で検討して動いていっております。そういったことの中に皆さんが参加してくれたのは、将来に建物が出来た時に、皆さんの思いが詰まった建物ということですので、ぜひそういった時を思い出してください。

また、こういう機会があればぜひ参加していただいて、みんなで作り上げていって、皆さ

んが交流・活用できる場に。10年20年、あるいは40年50年の先を見て、「四万十町に誇れる施設が出来た」、あるいは「僕たち/私たちが込めた思いもあるんだよ」ということを伝えていけたらいいかなと思います。

本当に皆さんには参加していただきありがとうございます。いい経験の場になったと思いますし、今後ともそういった場に参加していただけたらと思います。一緒に素晴らしい四万十町の文化的施設を考えていきましょう。

本日は、ARGの岡本代表はじめ皆様方には、おいでいただきましてありがとうございます。このような素晴らしい場を設けていただき、ワークショップを開くことができました。

今日は文化的施設検討委員会の委員さんたちもおいでになってますし、また関心のある方々もおいでで、図書館関係者も行政の人たちも来ていただいております。本当にありがとうございます。

明日の街歩きは、皆さんは今回参加できないとのことですが、次の機会があれば一緒に考えて一緒に行動ができたらと思います。よろしくお願ひします。

本日は本当にありがとうございました。またよろしくお願ひいたします。